

資料 2-3

栃木県医療費適正化計画協議会(12/25)における主な意見

栃木県保健福祉部

項目	主な意見
計画全般	<ul style="list-style-type: none">・県の保健ガバナンスの抜本強化に向けて、各委員の意見をしっかりと受け止め、県の役割を強化し、市町としっかりと連携していただきたい。
医療費分析	<ul style="list-style-type: none">・本県の医療費は、全国で低位であり、特に入院医療費が低い。その理由を明確にする必要があるのではないか。・がん検診を受けた方と受けなかった方の一人当たり医療費のデータを示すことで、検診の受診勧奨に役立つのではないか。
健康寿命	<ul style="list-style-type: none">・健康寿命について、女性と男性の差が大きい市町における課題を把握する必要があるのではないか。
取組の推進	<ul style="list-style-type: none">・食生活・栄養や運動について、学校保健・子どもの頃から、全ての年代で取り組むことが必要である。・地域や職域の視点で、中小企業で働いている方の健康を押さえるためにどのようにするか、県にも意識していただきたい。
教育等の格差	<ul style="list-style-type: none">・経済格差に伴う教育格差が大きくなっており、貧困と健康の関係を見ていくことは重要である。県から県民へのアプローチをどうしていくかが重要である。